問題別調査結果　［理科］

江戸川区立小岩第三中学校－生徒

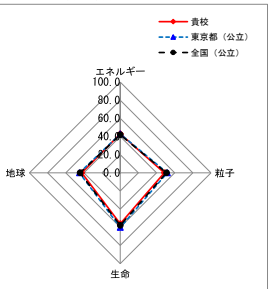
・以下の集計値／グラフは，４月１９日に実施した調査の結果を集計した値である。

集計結果

対象生徒数	江戸川区立小岩第三中学校	東京都（公立）	全国（公立）
	139	70,870	892,585

分類	区分	対象問題数（問）	平均正答率(%) 貴校	東京都（公立）	全国（公立）
全体		21	48	51	49.3
学習指導要領の領域	「エネルギー」を柱とする領域	6	43.0	42.8	41.9
	「粒子」を柱とする領域	5	48.6	51.8	50.9
	「生命」を柱とする領域	5	56.1	60.1	57.9
	「地球」を柱とする領域	6	42.4	44.9	44.3
評価の観点	知識・技能	7	45.6	46.9	46.1
	思考・判断・表現	14	49.4	52.3	51.0
	主体的に学習に取り組む態度	0			
問題形式	選択式	15	48.9	50.6	49.6
	短答式	1	25.2	25.3	24.8
	記述式	5	50.6	55.3	53.5

＜学習指導要領の領域の平均正答率の状況＞



現状把握（調査問題から見た課題）

〇全国の平均正答率と同程度である。

〇学習指導要領の領域である「エネルギー」を柱とする領域は、全国と都の平均正答率を上回っている。

〇問題形式による正答率への大きな影響は見られず、「短答式」は全国を上回った。都と比べると「記述式」が平均正答率で下回っていることは課題である。

指導改善のポイント

〇実験や観察を行い、実験の計画や操作などの妥当性について検討して改善する力を、引き続き伸ばしていく。

〇「知識・技能」の基礎を確実に習得できる授業を目指し、実験・観察の目的を明確にし、実際に操作を行わせる中で技能を身に付けさせていく。

〇生徒にとって受け身の授業とせず、生徒自身が自ら考え自然現象を理解することを求め、そしてその意見を友達と互いに共有し、さらに友達の意見を踏まえてもう一度自分自身で考えるという流れを授業に取り入れることで、深い学びに繋げられるようにする。